



入舟地区コミュニティ協議会 新年会

### コミ協の活動状況

総務部会 高山ゆり子

- ① 10.2 ふれあいウォーキング(参加183名)
- ② 10.9シティーマラソン
- ③ 10.23 入舟地区自主防避難訓練(参加 700名)
- ④ 11.18 コミ協懇談会  
来賓:区長、地域課長、係長、総務課  
(参加29名)
- ⑤ 11.20 第27回お互いさまランチ(参加96名)
- ⑥ 12.17 安全合同パトロール(参加 56名)

- ⑦ 1.20 コミ協新年会(参加53名)
- ⑧ 1.22 第28回お互いさまランチ(参加102名)
- ⑨ 1.25地域活動ふれあいの集い
- ⑩ 2.1 市会議員団との跡地について懇談会  
(参加者:中央区市議団11名、コミ協6名)
- ⑪ 2.18 北部総合コミュニティセンター及び  
船江図書館の移転 説明会(参加25名)
- ⑫ 2.26 救命講習会(参加者27名)
- ⑬ 3.12 第29回お互いさまランチ(参加100名)
- ⑭ 3.26 自主防研修会
- ⑮ 3.29 コミ協だより

総務部会  
(第19号)発刊

### 自主防の活動

会長 明間博隆

皆様方にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。昨年の訓練には多数の方々にご参加いただき有難うございました。

さて、昨年は旧入舟小学校区のみでの訓練となりました。以前の4コミ協での訓練はなかなか難しいとの意見があった、旧小学校単位でやることになり、当会では2年ぶりの炊出しを取り入れた訓練を開催しました。それにともない、4コミ協が一緒でないで、学校登校日にはできないとの学校の意向により子供たちは自主参加となりました。

地域と学校という連携した訓練が出来ず、長年構築してきた先人の思いが、一瞬に消え去り、大変惜しいことと心より悲しい思いで一杯です。

29年度は訓練を6月に戻し、新潟地震の教訓を思い出した訓練を考えております。

なお、暮れの糸魚川の大火をテレビでの観察でしたが、あの火災がこのしも地区に起きたら糸魚川と同じ大火になるのではと危惧しています。

そこで、このたびの研修会(3/26)では新潟市消防局課長さんより糸魚川の現状報告と「なぜ、そこまで大火となったのか」、の基調講演をしていただきました。



自主防

#### 編集後記

学び舎との最後の日となりました。入舟小で92年、日和山小で2年の長い歴史を閉じました。今号は学び舎の軌跡を思い返し、感謝の意を表すために特別の編集としました。地域に住む人々の思い出をたどると最後はいつも学校の校舎にたどり着きます。まさに思い出の原点でした。

それを喪失し、空白となった事は言いようのないことです。

今後はコミセンとなりますがしっかりとした基盤となるには長い年月を要するでしょう。時代の変遷として受け止めなければとおもいます。

編集委員:鈴木喬、高橋誠一、田村幸夫、明間博隆  
古寺昭治、小島良子、野内孝裕、杉山節子  
高山ゆり子、阿部幹雄、風間幸一、宮尾益史

# 入舟 コミ協だより

第19号  
発行: '17.3.28  
発行所: 入舟地区  
コミュニティ協議会  
責任者: 田村 幸夫  
TEL 223-3532



### 地域の安心安全活動

入舟地区防犯協会 副会長 阿部幹雄

昨年10月19日新潟市長より防犯活動の功労に対する感謝状を授与されたのを機会に、青色回転灯を備えた防犯パトロールカー(青パト)の申請を致しておりました。この度、中央区で初となる青パト活動の委嘱を受け、県警本部長の許可により運転が出来る事になりました。

12月17日、入舟地区コミュニティ協議会と同地区防犯協会の約60名が参加する合同パトロールのミーティングに青パト出発式を実施いたしました。

出発式には中央警察署から右近祥治部署長、新潟市から中川高男副区長を始めとする関係者の皆様から参加を頂きました。

右近署長に「自らの安全は自ら守る」「地域の安全は地域で守ると言う意識を持ち行動します」と入舟地区防犯スローガンを宣言し、宣言書を手渡しました。

日和山小学校は4月10日に新しい校舎で始業式が行われます。子供達は、今までとは全く違う通学路を通る事になり不安も多い事と心配しています。

この青パトで子供達の不安を少しでも軽く出来るよう、又、安全な地域をつくる一助になればと、日に60分程度の防犯パトロールを実施しております。

子供達は青パトを見かけると「阿部ちゃん」と声を掛け、手を振ってくれ私も手を振り返し、一層の励みになりこれからももっと頑張ろうと自分自身に誓いました。





# 旧入舟小学校 9 6 年間・日和山小学校 2 年間、この入舟地区の学び舎でした。

校舎は今後 2 年間の工事を経て、地域活動の拠点として生まれ変わります。

## 絆ルームの活用



旧入舟小学校・1階「絆ルーム」に「入舟小学校区コミュニティ協議会」の事務室がおかれまして。それにより、コミ協の会議が学校内で行われるようになり、地域と学校の連絡調整もスムーズになっていきました。そのお陰でしょうか。その後、たくさんの活動が校舎を利用し行われています。



入舟地区コミュニティ協議会は、平成 19 年「入舟小学校区コミュニティ協議会」発足当時から地域と学校が一つになり、校舎を活用した様々な活動を行ってまいりました。それは現在の日和山小学校になっても同じです。

子どもたちは入舟地域の皆さんから、たくさんのご協力をいただき、安心と安全を感じながら過ごすことができました。学校長をはじめ職員一同、感謝しております。新校舎に移っても、日和山小学校は地域の学校です。これからも地域の子どもたちを見守ってください。

## 昭和 3 2 年頃



昭和32年 西校舎完成

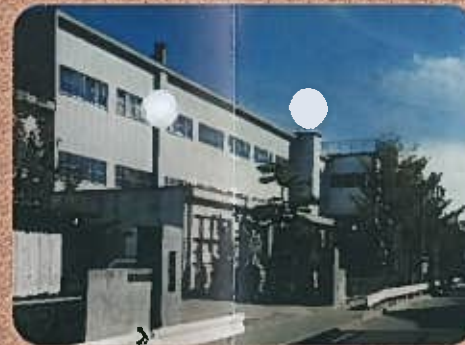
## 昭和 7 年頃



## 平成 1 5 年頃



## 昭和 5 3 年頃



## しもまちお互いさまランチ

福祉文協部会が主催し毎回愛情がたっぷり入ったお食事の調理をし、会場設営や受付、誘導にボランティアの方々のご協力をいただいています。年6回も開催し、9月には「敬老会」も合わせて行われています。



会議は「絆ルーム」・調理は「家庭科室」・余興は「ふれあいホール」・食事は「ランチルーム」を使用しています。学校の理解がなければこのような活動はできません。他地域に自慢できるコミ協活動の一つです。



## 避難訓練・防災訓練 活動

入舟地域は小学校が避難場所になっています。地域住民が協力し合うことで、皆さんの心の備えになります。



## 校舎のお別れ会

日和山小の児員会では、「校舎お別れ会」を開きました。子どもたちにとってグラウンドや教室などで数え切れない思い出ができました。

